



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2019
6.30
No.60

介護福祉経営士 活動レポート Vol.30

経営人材の育成が 組織の持続可能性を高める

— 介護福祉経営士資格によって高められる管理者能力 —

CONTENTS

介護福祉経営士
活動レポート Vol.30

経営人材の育成が
組織の持続可能性を高める
— 介護福祉経営士資格によって
高められる管理者能力 — 2

●第4回
全国介護福祉総合
フェスティバル in さいたま
開催のお知らせ 5

●今月の「介護ビジョン」
●介護福祉経営士
実践研修のお知らせ 6

●INFORMATION 7

イベント掲示板 8



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
ニッテン神田ビル3階

関西エリアと関東の一部を中心に成長を続けている「日の出医療福祉グループ」である。では、約40人の介護福祉経営士が活躍している。

本特集では、なぜ同グループ内で介護福祉経営士が数多く育ち、どのように組織に貢献しているのかをレポートする。

経営人材の育成が 組織の持続可能性を高める

——介護福祉経営士資格によって高められる管理者能力——

持続可能な福祉を目指して

「日の出医療福祉グループ」は社会福祉法人日の出福祉会、医療法人社団奉志会、社会福祉法人博愛福祉会からなる共同事業体である。介護・保育・医療サービスを関西エリアと関東の一部を中心に提供している。

事業は兵庫県に拠点を置く「キング醸造株式会社」の創業90周年事業として、地域貢献を目的にスタートした。2016年夏よりグループとして三法人の本格的な連携が行われている。「持続可能な福祉」の確立がグループ化の主な目的だ。

同グループの特徴のひとつに「経営」に対する意識の高さがある。

福祉にかかわる法人の多くは強い使命感を持ち、利用者のために何ができるかを第一に考えている。しかし、その一方で、サービス残業をはじめとする滅私的な働き方が認められる風潮や、一部の経営層を除くと入居率などの数字に対する意識が薄いなど、「経営＝マネジメント」の側面がないがしろになっているケースも少なくない。

そして結果的にその状況が、「介護職＝つらそうな仕事」というイメージの独り歩きを助長し、人手不足を生み出す悪循環の一因となっている。

経営感覚を重視した人材育成

今回取材した「日の出医療福祉グループ」では、「経

営」を「持続可能な福祉」を実現するための重要なファクターとしてとらえている。

健全な経営基盤を確保することは、すなわち現在関わっている利用者の生活を「いつも通りいつまでも」支えることになると考えるからだ。

そして何よりも職員が安定して幸せに働き続けることで、ケアの質も自然と向上し、利用者の幸せにもつながる。

ただ、ここで問題となってくるのは、介護業界における「経営」の特異さだ。経営方針に対してある程度自由度のある一般的な企業と違い、介護業界の「経営」には介護保険法などの公的な制度の影響が非常に大きい。準市場であり制度リスクが大きいことから、一般的な経営論をただ単にあてはめ、移植するだけではまともに機能しないのだ。

ところが、同グループではそれを逆手に取った。母体となったキング醸造から経営能力の高い人材を招き入れ、経営にかかわる数字を徹底的に細分化したのだ。一般的な経営の視点を介護業界向けに翻訳し、最適化するしくみを自組織の中で組み上げたことは、営利企業を母体に持つ同グループならではの強みを生かした試みといえる。

結果として現場の管理者が現実味をもって収支を考えられる環境がしっかりと作られることとなった。

以来、同グループでは若手の幹部を中心に収支に対する責任感を育む人材育成を行ってきた。

その一環として行われているのが「管理者養成研修」

である。1年間を通して担当業務だけでなく管理職として必要な心構えやスキルをしっかりと学び、身につけることが目的だ。

研修における課題の一つとして、「介護福祉経営士」を含む福祉関連資格の取得がある。これにより同法人では約40名の介護福祉経営士が誕生、活躍している。有資格者の所属施設は特別養護老人ホームやデイサービスセンター、クリニックなどさまざまだが、取得のきっかけが管理者養成研修であることから、施設長や主任などの管理者クラスの人材が多いことが特徴だ。

これほどの数の介護福祉経営士が同一法人の組織の要所に配置されるケースはまだ少なく、介護福祉経営士への期待値の高さがうかがえる。



健全な経営基盤が職員が安心して働ける環境を生み出している

Message 「日の出医療福祉グループ」で活躍中の介護福祉経営士の皆さん

同グループの現場の最前線で活躍する介護福祉経営士の方々に
お話をうかがう機会が得られたため、以下に紹介する。

▲ 高齢者総合ケア福祉施設ふたばの里の施設長としており、施設全体の管理運営を主な業務として行っています。施設の部門課長などのキーマンと連携を取りながら、あがってきた報告の内容の確認や今後の方向性の決定を現状の収支の状況等を見ながら進めています。

現在は35歳で、組織の中では若い方に入りますが、当法人内では実力があれば年齢に関係なく挑戦する機会を得ることができます。元々はデイケアの職員として所属していました。その後老健へ異動し、本部の総務部を経て現在の立場にあります。

資格取得のきっかけは平成28年に始まった管理者養成研修でした。

研修の中で認定資格を取得するという課題があり、「医療経営士」等の資格も候補になっていましたが、やはり福祉にかかわっていることから、介護福祉経営士を選択しました。

資格取得の経験を現在の仕事にどう生かすかは模索中ではありますが、自分の仕事やまわりの環境について考えるよいきっかけになっていると思います。

法人に入って2、3年はどうしてお金のことばかり言うのか、高齢者のケアがすべてではないのかと思っていました。しかし立場が変わると、志だけでなく経営の視点が必要であることがわかってきました。収入がなければ職員の未来の保証もできず、サービスの継続ができません。それでは意味がない。

介護の仕事のやりがいは、一日の生活を通して利用者と深くかわっていける部分だと感じています。だからこそ、自分のエリア（ふたばの里の全サービス）で、法人の方向性、目標を達成するためには何ができるのかを常に考え続けたいといけません。また、事業を長く続けていくためには地域に根差した業務を目指す必要があります。そのためには送迎の運転一つをとっても事務所の看板を背負っているのであり、地域の方に常に見られているという意識をもって安全運転を心掛ける必要があります。

こういった感覚を他の職員と共有したうえで、職員自身のステップアップの方向性も一緒になって考えていく。施設長からのトップダウンではなく、ボトムアップで皆が成長していける形を目指したいと思います。これからも「利用者よし」「職員よし」「地域よし」の「三方よし」になるように意識しつつ、まわりへの感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと思っています。

社会福祉法人 日の出福祉会
高齢者総合ケア福祉施設 ふたばの里
施設長／エリア責任者

中村 豪氏
介護福祉経営士2級





今年4月からショートステイの相談員をしています。3月まではユニットのリーダーをしていました。現在は利用者と一緒に歩いた立場からかわりつつ、利用者のためになることを何でもやっています。家族との調整や、送迎など利用者の状況によって業務内容はさまざまです。

介護福祉経営士の資格は研修をきっかけに取得しました。経営的な数字の面など、今までの現場の経験からケアマネジャーの試験などに通じるものを感じながら勉強していました。学んだことは数字の面で活かしているように感じています。

利用者により良い生活をしていただくためにも資金が必要になります。空調をはじめとする環境を整えるだけでも経費がかかる。またより良いサービスを突き詰めていくことが収入に直結しない場合も少なくありません。経営を意識していかないと事業が成り立っていきません。業務の稼働率を上げ、空き室が生じないような配慮が現場の職員には求められており、その点については職員自身も強く認識しています。

今後は自分たちの事業所独自の強みをつくっていかねば長期的に生き残っていくことは難しくなるのではないのでしょうか？ それもリハビリ機能の強化など、はっきりと具体的な形を持たせることが求められていると思います。

現在の職場は職員の意見が尊重され、意見が通やすい雰囲気や環境が醸成されています。上司がしっかりと相談に乗ってくれる環境はとてもありがたいものだと感じています。

私の立場は現場から少し離れていますが、その立場にあるからこそ、より活発な意見交換を心がけつつ取り組んでいきたいと思っています。

社会福祉法人 日の出福祉会
高齢者総合ケア福祉施設 ふたばの里
リーダー／SS相談員

谷 俊祐氏
介護福祉経営士2級



特別養護老人ホーム併設のデイサービスセンターの管理者をしています。管理に関する業務は一通りこなしており、経費管理や収入の計算、場合によっては送迎なども行っています。黒字を保つためにはどうしたら良いのか、適正な人員配置かなどを確認・調整することが重要な役割だと思っています。

資格取得のきっかけは研修の課題であったことですが、もともと経営については意識していました。今後も福祉業界に身をおくにあたり、経営に関する知識やスキルを身につけたうえで利用者を支えられるような職員になりたいと考えていたからです。それが取得を決めた大きな理由の一つでした。

私としては経営と福祉は対極にあると思っています。福祉精神が旺盛ならば、無償でサービスを提供すべきだとも思います。ただ、現実には事業の運営には資金が必要であり、「明日からサービスを利用できない」事態になることは利用者のためを思えば絶対に避けなくてはなりません。そのためには事業を継続していく上でどの程度の資金が必要になるのかを把握し、それを自分の事業所だけでまかなうためにはどれだけの利益が必要なのかを考えるという視点が必要だと思っています。

私たちの事業所ではどんな利用者相手でも「NO」と言わな

いようにしています。ここに相談すればなにか手を打ってくれる、希望がかなうかもしれないと思ってもらえるような事業所を目指したいと思っています。この想いは私がグループに入った当時の上司たちから受け継いだものです。我々のグループでは、良いと思ったことはやる。やりながら考えて、たとえ失敗したとしても、改善策を考え、できるまでやるという姿勢を代表が率先して見せています。そのせいか、何かしたいということに対するレスポンスがとても速い。モチベーションが一番高いうちに取り組ませてもらえるのは何よりの強みだと思います。

現在、日の出医療福祉グループの基盤が地域に根付きつつあります。その中で次世代が芽を出し始めており、自分もその中の一人にならなくてはいけないと思っています。今後はそこからさらに大きな樹になっていくための幹の一本になっていきたいと思っています。

社会福祉法人 日の出福祉会
伽の里 デイサービスセンター
管理者

鹿島 壮雄氏
介護福祉経営士2級



「組織の風通しの良さ」は今回お話をうかがった介護福祉経営士の方々グループの特徴として口をそろえてあげているポイントだ。実際にグループ内では年齢に関係なく能力のある人材を重要なポストに起用する試みの他、人材の行き来も活発に行われており、意識的に組織内に新しい風が吹き込める環境がつけられている。

「経営感覚を重視した組織運営方針」「風通しがよく、新しい取り組みがしやすい土壌」という介護福祉経営士が活躍するための理想的ともいえる環境が整っている日の出医療福祉グループ。今後どのような介護福祉経営の新しい波が生み出されるのだろうか？

第4回

全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま

渋沢栄一に学ぶ介護福祉経営の未来

～今、急がれる経営基盤の確立と人材育成～

日時 2019年
9月6日(金)・7日(土)

会場 埼玉会館
(埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4)

全国介護福祉総合フェスティバルは、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場として、毎年開催されています。

詳細や過去の開催の様子は
協会ホームページ
(<http://www.nkfk.jp/kaigofes2019/>)
からご確認ください▶▶▶



プログラム1日目

9月6日(金)

■基調講演

渋沢栄一の生き方に学ぶ

～実業界の巨匠が残したものとは

鮫島純子氏(エッセイスト/渋沢栄一氏の孫)

■パネルディスカッション

渋沢栄一から何を学ぶか

～経営基盤の確立と人材育成のために

座長:川渕孝一氏(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)

■ダブル講演&スペシャル対談

これからの介護福祉に残すべきもの、
変えていくべきもの

黒澤貞夫氏(一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事)

時田純氏(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会副代表理事)

プログラム2日目

9月7日(土)

■座談会

なぜ介護現場は人材が定着しないのか?

■SAIPE(彩の国連携力育成プロジェクト)コラボ企画

「ヒューマンケア」を学んだ

4大学出身者たちの多職種協働奮闘記

■外国人介護人材の現状と課題

■座談会

介護福祉経営士が描く未来の介護

介護現場の『働く』『学ぶ』のマネジメント

ほか

各プログラムは予定です。
変更となる場合がございますのでご了承ください。
その他プログラムは随時
フェスティバル公式WEBサイトで公開します。

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

地域介護経営

今月の

地域特集

Governor's Voice

緊急インタビュー

特別寄稿

トップに聞く

健康寿命・介護予防は鍵を握るのか？ 埼玉版 介護事業者の生き抜き方

上田 清司(埼玉県知事)

菅沼 蔵人(株式会社 ソーイングボックス)

今中 英二(株式会社 ウエルビー)

株式会社 らいふ 取締役
小林 司氏

関東1都3県で施設を中心に介護事業を手がける株式会社らいふに他業界から飛び込み、1年で施設入居率を10%以上上昇させるなど、経営手腕を発揮してきた小林司取締役。同氏の視点から見た地域の高齢者を支え、シニアの力を活かす介護経営のあり方をインタビューとして神内秀之介氏が介護福祉経営士の観点からレポートする。



【インタビュー】
神内 秀之介氏
介護福祉経営士1級



小林 司氏



2019年7月号
(2019年6月20日発売)

詳しくは [介護ビジョン](#)

- 毎月20日発行
- 定価：1,296円(税込)
- 定期購読料：15,552円(税込)
- ※ 会員価格は12,444円(税込)

受付中

介護福祉経営士 実践研修のお知らせ

「介護福祉経営士2級」資格から「介護福祉経営士1級」資格への等級変更に必要な研修です。「介護福祉経営士1級」に必要な経営課題についての観察能力、分析能力を養うことを目的に行います。研修は、協会が認定した受講地・実施施設で行われ、①講義、②視察、③演習を体験した後、さらに④事後課題を作成します。課題を抽出・分析し、経営戦略を立案する取り組みが経験できます。

受講資格者

「介護福祉経営士1級」資格認定試験(筆記試験)合格者、または「介護福祉経営士1級」資格保持者

受講料

21,600円(介護福祉経営士1級資格保持者は12,960円)

※受講料入金締切日は実践研修実施日の1カ月前(前月の同じ日)まで。

お問合せ

一般社団法人
日本介護福祉経営人材教育協会
TEL:03-3256-0571



■受講地／実施法人・実施施設／日程(会場によって異なります)

受講地	実施法人・実施施設	日程
北海道	調整中	2019年9月～11月 予定
関東	社会福祉法人小田原福祉 潤生園在宅介護総合センターれんげの里 (神奈川県小田原市)	2019年10月26日(土)
東海	社会福祉法人せんねん村 (愛知県西尾市)	2019年9月～11月 予定
北信越	社会福祉法人アルペン会 (富山県富山市)	2019年6月2日(日) ※終了しました
関西	社会福祉法人愛和会 特別養護老人ホーム豊中あいわ苑 (大阪府豊中市)	2019年10月5日(土)
九州	社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園 (大分県中津市)	2019年9月～11月 予定

※受講地は、希望の場所を選択できます。

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

『介護福祉経営士』の創設と普及に 力を尽くしたお二人を偲んで



北島 政樹

本会副代表理事

(学校法人国際医療福祉大学副
理事長／国際医療福祉大学名誉
学長／慶應義塾大学名誉教授)

北島政樹氏は、本会設立時理事に就任し、「介護福祉経営士」資格の創設、人材育成に力を注がれました。

1966年に慶應義塾大学医学部卒業、1973年に足利赤十字病院外科部長、1975年にHarvard Medical School, Massachusetts General Hospitalへ2年間留学後、杏林大学第一外科教授、慶應義塾大学病院副院長、同院長、同医学部長を経て慶應義塾大学医学部名誉教授に就任されました。さらに、国際医療福祉大学三田病院院長を経て国際医療福祉大学学長、名誉学長を歴任。

国外においても英国王立外科学会、アメリカ外科学会、イタリア外科学会、ドイツ外科学会、ドイツ消化器外科学会およびハンガリー外科学会の会員として活躍し、New England Journal of Medicine, World Journal of Surgery, Langenbeck's Archives of Surgery などの編集委員、プロツワフ大学(ポーランド)、センメルweis大学(ハンガリー)名誉医学博士など、医療の発展に寄与されました。

「介護福祉経営士は介護分野においてマネジメントに関する高度な知識と技術をもった専門人材、マネジメント専門人材は、利用者が必要とするケアや支援に応じて多様な専門職・専門施設を効果的に連携し、利用者・家族はもとよりスタッフ・施設・地域といった多様なステークホルダーに貢献することを可能にする」(SUN 2014年6号「巻頭言」)と介護福祉経営士の活躍に期待を寄せ、本会の活動に多大な功績を残されました。

2019年5月21日、東京都内の病院で、心不全により、77歳にて永眠。



小笠原 浩一

本会理事

(埼玉大学名誉教授／東北福祉
大学大学院教授／経済学博士)

小笠原浩一氏は、本会設立時に監事として就任、その後、理事に就任し、本会の活動を多岐にわたり支えられました。

Laurea University of Applied Sciences名誉研究フェロー、日本介護経営学会副会長を歴任。教育活動として、主に2つの活動を行っており、1つは、事象の因果関係を論理的・解析的に把握する力を養うために、具体的な事例等に即した論点提示と理論体系的な思考回路の説明を進めること、もう1つは、フィールドを重視し、チームの創発力を活かす研究推進の方法を指導されました。

同氏は本会設立記念祝賀会において、「経営人材というと、どうしても営利企業内部の人事論が中心になりがちでしたが、社会的なミッションを負った中間支援組織をマネジメントする人材の育成は日本で初の試みになると思います」と、新しい形の経営人材への期待を込めてコメントを寄せておられました。

介護福祉経営士が地域の資源や力、医療との連携、他事業者の得意分野など、さまざまな経営資源を積極的に活用すること。最終的には自法人にもプロフィットを戻す仕組みを作り上げられるようになること。小さく閉じこもるのではなく、地域包括ケアシステムの中で広く活躍するポジションをめざすことを強く願われており、介護福祉経営士の活躍の場の拡大に尽力されました。

2018年12月12日、66歳にて永眠。



介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

北海道支部

ミドルマネジャー養成ゼミ2019

事業所は環境変化に対応し発展し続けていかなければならない。その要となる人材はミドルマネジャーだ！しかしながら、職場の司令塔であるミドルマネジャーが日々の業務に追われ、本来求められる職場全体の管理や、部下指導・育成が疎かになることは、事業所の現場力や人材育成力を低下させ、競争力の減退を招きかねない重大な問題である。今回の養成ゼミでは、ミドルマネジャーとして必要な考え方・視点を3回にわたり修得する。

- 日時：2019年7月26日(金)、8月23日(金)、9月27日(金) 各回18:30~20:00(全3回)
- 講師：神内秀之介氏(N&B care and welfare management laboratory代表、介護福祉経営士1級、スマート介護士(basic))
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6丁目15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員(全3回)10,000円、(各回)4,000円
一般(全3回)12,000円、(各回)5,000円 ※税込
- 定員：15人
- 共催：株式会社日本医療企画

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北海道支社
TEL:011-223-5125

東北支部

ともに学び、ともに考え、ともに成長する“石井ゼミ”in東北 採用される企画を提案しよう！

全国で開催中の“石井ゼミ”。今回は、『採用される企画提案を立てよう』をテーマに「新規事業企画や業務改善提案書の作成」から「上長や他部門に向けたプレゼンテーション(模擬プレゼン・発表)」まで、より実践的な内容を予定。

- 日時：2019年5月11日(土)、7月13日(土)、9月7日(土) 14:00~17:00(各回共通)
※終了後懇親会を予定(費用別途4,000円程度)
- 講師：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 会場：PARM-CITY131貸会議室(宮城県仙台市青葉区一番町3-1-16)
- 受講料：協会会員(全3回)12,000円、(各回)5,000円
一般(全3回)27,000円、(各回)10,000円 ※税込
※会員の方が一般(非会員)の方をお連れの場合、その方も会員価格となります。
- 定員：30名 ※定員になり次第、締め切り
- 共催：株式会社日本医療企画、日本介護福祉経営人材教育協会東北支部、日本医療経営実践協会東北支部、日本栄養経営実践協会関東支部東北支局

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社
TEL:022-281-8536

関東支部

8月末の届出期限迫る!! 「新介護職員処遇改善加算」を 事業所経営にどう活かすか

10月に予定されている消費税10%引き上げに合わせ、「特定処遇改善加算」が創設される。「経験・技能のある介護職員の月8万円の賃金改善」を標榜するこの加算は、確実に取得すべき。「月8万円」のハードルが高いため、着実に取得するテクニックは勿論大事だが、なにより大切なのは、これを機に、事業所それぞれの人材育成制度をより強固にすること。国の制度をわが事業所のものにする方法を徹底解説する。

- 日時：2019年7月4日(木) 14:00~17:00
- 講師：今中英二氏(株式会社ウエルビー)
- 会場：ニッテン神田ビルセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地ニッテン神田ビル3階)
- 受講料：協会会員5,000円、一般8,000円、
協会会員で「介護ビジョン」定期購読者4,000円、
一般で「介護ビジョン」定期購読者7,000円
※受講料には「介護ビジョン」7月号の金額も含まれています。 ※税込
- 定員：50名
- 主催：日本介護福祉経営人材教育協会関東支部、株式会社日本医療企画

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関東支社
TEL:03-3256-2885

関西支部

～経営的視点から給食管理部門を見直そう!!～ 給食経営管理から考える医療・福祉・介護経営

近年、医療・福祉・介護の現場において栄養管理のアウトカムが求められるようになった。なかでも給食管理部門は、治療効果などの「サービスの質」と「コスト管理」の両輪を揃えたマネジメントがキモとなる。給食管理部門の現状を把握して適切な業務につなげていく「給食経営管理」について学ぶ。

- 日時：2019年7月27日(土) 14:00~17:00
- 講師：赤尾正氏(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科准教授)
- 会場：上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪府大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)
- 受講料：協会会員2,000円、一般3,500円 ※税込
※研究会終了後、懇親会を予定(自由参加/会費4,000円)
- 定員：35名
- 主催：一般社団法人日本医療経営実践協会、株式会社日本医療企画

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL:06-7660-1761

日本医療企画

介護に関する外国人人材の研修担当者向け! 日本語と介護の教え方セミナー!

介護現場における外国人人材の活躍の場が広がりにつある一方で、「言葉の壁」などが課題となっているケースも多い。受け入れ側は日本語と介護の教育をどのように行えばよいのか。実践に役立つ講義を行う。参加者には、『やさしい日本語とイラストで学ぶみんなの介護』の指導要領をプレゼント。

- 日時：2019年7月25日(木) 15:00~17:00
- 講師：堀永乃氏(一般社団法人グローバル人材サポート浜松代表理事)
- 会場：ニッテン神田ビルセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地ニッテン神田ビル3階)
- 参加費：協会会員、日本医療企画初任者研修テキスト・実務者研修テキスト採用校、
『介護ビジョン』定期購読者10,000円、一般15,000円 ※税込 ※テキスト代別
※本セミナーは、『やさしい日本語とイラストで学ぶみんなの介護』(株式会社日本医療企画刊 2,500+税)を使用します。テキストをお持ちの方は持参願います。テキストをお持ちでない方は、当日会場にて販売いたします。
- 定員：80名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関東支社
TEL:03-3256-2885

日本医療企画

「介護福祉経営士2級」資格認定試験対策 ポイント整理講座

「介護福祉経営士2級」資格認定試験に向けた試験対策ポイント整理講座。資格認定試験の出題範囲に準拠したテキストを用いて重点項目や押さえるべきポイントをわかりやすく解説する。

- 日時：2019年7月28日(日)
講義：9:30~15:30
問題演習 & 解説：15:30~17:30
- 講師：馬場博氏(一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー)
- 会場：ニッテン神田ビルセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階)
- 受講料：15,000円(税込)
- 定員：40名 ※定員になり次第、締め切り
- 持参物：「介護福祉経営士テキスト 基礎編(全10巻)」
(株)日本医療企画刊/1セット23,660円(税込)
※各自お買い求めいただきご持参ください。
※上記価格は、日本医療企画にてご購入する場合の特別価格です。
※ご購入の際は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関東支社
TEL:03-3256-2885